



2022年5月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 株式会社きずなホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7086 URL <https://www.kizuna-hd.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長兼グループCEO（氏名）中道 康彰  
 問合せ先責任者（役職名）経営管理本部長（氏名）下田 啓明（TEL）03-5427-6432  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有（2022年1月14日）  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（2022年1月18日に当社HPにて説明動画掲載予定）  
 （百万円未満切捨て）

1. 2022年5月期第2四半期の連結業績（2021年6月1日～2021年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第2四半期	4,244	12.0	450	31.7	363	39.6	234	40.2	234	40.2	234	40.2
2021年5月期第2四半期	3,788	△1.1	342	△10.1	260	△14.2	167	△14.8	167	△14.8	167	△14.8
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2022年5月期第2四半期	68.20				67.60							
2021年5月期第2四半期	48.64				48.41							

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年5月期第2四半期	21,354	4,182	4,182	19.6
2021年5月期	20,883	3,947	3,947	18.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年5月期	—	0.00	—	—	—
2022年5月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年5月期の連結業績予想（2021年6月1日～2022年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	14.6	1,000	36.4	820	45.1	480	33.6	480	33.6	139.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年5月期2Q	3,444,235株	2021年5月期	3,444,235株
② 期末自己株式数	2022年5月期2Q	101株	2021年5月期	38株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年5月期2Q	3,444,180株	2021年5月期2Q	3,444,210株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当第2四半期の決算説明動画を2022年1月18日に当社ウェブサイトに掲載予定です。

(<https://www.kizuna-hd.co.jp/ir>)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
（1）経営成績に関する説明 .....	2
（2）財政状態に関する説明 .....	6
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	8
（1）要約四半期連結財政状態計算書 .....	8
（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
（3）要約四半期連結持分変動計算書 .....	12
（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前連結会計年度より引き続き新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が継続しております。国内の新規感染者数は一時期落ち着いたものの、足元では再増加に転じており、景気の先行きについては依然不透明な状況が続いております。

葬儀業界におきましては、高齢者人口の増加に伴って潜在需要を示す死亡者人口が2040年まで年々増加すると推計されており、今後の葬儀件数増大が見込まれていますが、一方で核家族化の進展等により簡素な葬儀の需要が高まるなど葬儀単価は中長期的に下落傾向にあります。COVID-19を契機として葬儀の小規模化の流れは一気に加速し、従来的一般葬から家族葬へのシフト、更には直葬や火葬式といったより簡素な葬儀の比率が増加し、業界全体で葬儀単価は大きく下落しております。

かかる事業環境の構造的な変化の中でも当社グループは、従前から不特定多数の参列者との接触を最小限にとどめる「一日一組」の「家族葬」を提供するなど、社会の変容に合致した形態のサービスを提供することで生活者の変容する葬儀需要に着実に対応してまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、積極出店方針を継続し5ホールの新規出店を行い、グループ直営ホール数は104店舗となりました。また、当社独自のオーダーメイド型葬儀である「オリジナルプラン葬儀件数」

（注）を業績向上につながる重要業績評価指標（KPI）と位置付け、当該数値を向上させる施策を通じて、葬儀件数の増加及び葬儀単価の向上に取り組んでまいりました。

その結果、葬儀件数は4,816件（前年同期比542件の増加）、仲介件数も含めた葬儀取扱件数は5,392件（前年同期比559件の増加）となりました。うちオリジナルプラン件数は1,116件（前年同期比157件の増加）、葬儀件数に占めるオリジナルプラン件数の比率は23.2%（前年同期は22.4%）となり、件数・件数比率ともに伸長いたしました。また葬儀単価は、815千円（前年同期比5千円の低下）となりました。直近の緊急事態宣言（2021年7月～9月）の影響により月次単価は8～9月に大きく低下いたしました。宣言解除後の10～11月は緩やかに回復いたしました。

（注）オリジナルプランとは、「ひとりひとりに合った葬儀の実現」という新しい価値の創造を目指し、2016年より開始した当社独自のオーダーメイド型の葬儀プランであります。通常のセットプランと比較し、高付加価値・高単価な商品であり、主に顧客満足度や葬儀単価向上の指標としております。

なお、各拠点別の取扱件数の内訳は、下記のとおりとなります。

（葬儀取扱の状況）

区分	会社	拠点	展開 都道府県	取扱件数			
				当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減	前連結 会計年度
葬儀施行業 (葬儀件数)	家族葬の ファミリーユ	北海道支社	北海道	690	599	91	1,312
		千葉支社	千葉県	784	716	68	1,525
		愛知支社	愛知県	566	493	73	1,022
		熊本支社	熊本県	610	544	66	1,120
		宮崎支社	宮崎県	858	794	64	1,756
		都市総合 支社	埼玉県 東京都 神奈川県	667	741	△74	1,451
	花駒	—	京都府 奈良県	454	387	67	831
	備前屋	—	岡山県	187	—	187	91
	葬儀件数 小計				4,816	4,274	542
ネット集客業 (仲介件数)	家族葬の ファミリーユ	都市総合 支社	27道府県	576	559	17	1,170
取扱件数 合計				5,392	4,833	559	10,278

（オリジナルプランの状況）

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減	前連結 会計年度
オリジナルプラン葬儀件数（件）	1,116	959	157	2,009
葬儀件数に占めるオリジナルプラン 葬儀件数の割合（％）	23.2	22.4	0.7	22.1

出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間において以下の直営5ホールを出店いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末における直営ホール数は104ホールとなりました。なお、奈良県への初出店により直営ホール展開エリアは9道府県に拡大し、また、前期M&Aにより子会社化した(株)備前屋（岡山県）においてM&A後の初出店を行う等、展開エリア拡大に向けた動きが着実に進んでおります。

## (新規出店の状況)

オープン時期	ホール名		所在地
2021年6月	奈良 1号店	ファミリーユ奈良押熊	奈良県奈良市
2021年7月	千葉 19号店	ファミリーユ東初富	千葉県鎌ケ谷市
2021年8月	宮崎 23号店	ファミリーユ住吉	宮崎県宮崎市
2021年9月	岡山 4号店	ファミリーユ岡山伊福	岡山県岡山市北区
2021年10月	宮崎 24号店	ファミリーユ小松	宮崎県宮崎市

## (ホール数の状況)

会社	拠点	都道府県	前第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末	当第2四半期 連結会計期間末
家族葬の ファミリーユ	北海道支社	北海道	17	18	18
	千葉支社	千葉県	16	18	19
	愛知支社	愛知県	12	14	14
	熊本支社	熊本県	16	17	17
	宮崎支社	宮崎県	21	22	24
	都市総合支社	神奈川県	1	1	1
花駒	—	京都府	6	6	6
		奈良県	—	—	1
備前屋	—	岡山県	—	3	4
合計		9道府県	89	99	104

当第2四半期連結累計期間の経営成績の状況は以下のとおりであります。

（売上収益）

当第2四半期連結累計期間の売上収益は前第2四半期連結累計期間に比して456百万円増加し、4,244百万円（前年同期比12.0%増）となりました。これは主に、前連結会計年度にオープンした15ホールや、M&A（㈱備前屋）3ホールの売上収益が通期寄与したこと、当第2四半期連結累計期間にオープンした5ホールの売上収益が寄与したことが要因であります。

（売上原価、売上総利益）

当第2四半期連結累計期間の売上原価は前第2四半期連結累計期間に比して220百万円増加し、2,597百万円（前年同期比9.3%増）となりました。これは主に、増収に伴い売上収益に比例する直接原価が増加したことや、ホール数増加に伴い労務費、減価償却費等が増加したことが要因であります。

以上の結果、売上総利益は前第2四半期連結累計期間に比して235百万円増加し、1,646百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

（販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用、営業利益）

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は前第2四半期連結累計期間に比して133百万円増加し、1,192百万円（前年同期比12.6%増）となりました。これは主に、人員数増加に伴い人件費が増加したことや、ホール数増加に伴い広告宣伝費が増加したことが要因であります。

以上の結果、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比して108百万円増加し、450百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

（金融収益、金融費用、税引前四半期利益）

当第2四半期連結累計期間の金融費用は前第2四半期連結累計期間に比して5百万円増加し、88百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

以上の結果、税引前四半期利益は前第2四半期連結累計期間に比して102百万円増加し、363百万円（前年同期比39.6%増）となりました。

（法人所得税費用、四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益）

当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、128百万円（前年同期比38.4%増）となりました。

以上の結果、四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は、いずれも前第2四半期連結累計期間に比して67百万円増加し、234百万円（前年同期比40.2%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

#### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ142百万円減少し、1,204百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が174百万円減少したためであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ613百万円増加し、20,150百万円となりました。これは主に、新規ホールにより有形固定資産が195百万円、使用権資産が356百万円増加したためであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ470百万円増加し、21,354百万円となりました。

#### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、2,544百万円となりました。これは主に、借入金が89百万円増加した一方で、未払法人所得税が87百万円減少したためであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ245百万円増加し、14,627百万円となりました。これは主に、借入金が116百万円減少した一方で、リース負債が348百万円増加したためであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ235百万円増加し、17,172百万円となりました。

#### （資本）

資本は、前連結会計年度末に比べ235百万円増加し、4,182百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、881百万円（前連結会計年度末比174百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による収入は719百万円（前年同期比49百万円減）となりました。これは主に、法人所得税の支払による支出が204百万円（前年同期比151百万円増）であった一方、税引前四半期利益が363百万円（前年同期比102百万円増）であったことや減価償却費及び償却費650百万円（前年同期比86百万円増）を計上したことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による支出は442百万円（前年同期比84百万円減）となりました。これは主に、新規ホール等の有形固定資産の取得による支出390百万円（前年同期比89百万円減）によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による支出は452百万円（前年同期は8百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金による収入191百万円（前年同期比325百万円減）があった一方で、リース負債の返済による支出419百万円（前年同期比51百万円増）、長期借入金の返済による支出223百万円（前年同期比84百万円増）があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2021年7月15日付「2021年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。また、COVID-19の影響について、少なくとも2022年5月期末までは継続するとの見通しにも変更はありません。

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,056,023	881,423
営業債権及びその他の債権	184,974	236,254
棚卸資産	34,471	32,793
その他の流動資産	71,820	54,256
流動資産合計	1,347,290	1,204,727
非流動資産		
有形固定資産	4,138,551	4,333,864
使用権資産	10,911,240	11,267,884
のれん	3,625,667	3,625,667
無形資産	112,240	114,416
その他の金融資産	435,998	467,308
繰延税金資産	281,180	281,180
その他の非流動資産	31,778	59,804
非流動資産合計	19,536,658	20,150,125
資産合計	20,883,948	21,354,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	442,064	463,552
借入金	599,712	689,613
リース負債	825,763	861,242
未払法人所得税	219,615	132,320
その他の流動負債	467,119	397,927
流動負債合計	2,554,274	2,544,656
非流動負債		
借入金	3,999,277	3,882,404
リース負債	10,027,017	10,375,570
その他の金融負債	5,950	5,950
引当金	349,949	363,520
非流動負債合計	14,382,193	14,627,446
負債合計	16,936,468	17,172,102
資本		
資本金	153,360	153,360
資本剰余金	2,579,379	2,579,379
利益剰余金	1,187,589	1,422,479
自己株式	△54	△189
その他の資本の構成要素	27,205	27,720
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,947,480	4,182,750
資本合計	3,947,480	4,182,750
負債及び資本合計	20,883,948	21,354,853

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
売上収益	3,788,345	4,244,529
売上原価	△2,377,245	△2,597,850
売上総利益	1,411,100	1,646,679
販売費及び一般管理費	△1,058,748	△1,192,153
その他の収益	3,599	3,226
その他の費用	△13,640	△6,976
営業利益	342,310	450,775
金融収益	340	407
金融費用	△82,535	△88,138
税引前四半期利益	260,116	363,044
法人所得税費用	△92,601	△128,154
四半期利益	167,514	234,889
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	167,514	234,889
四半期利益	167,514	234,889
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	48.64	68.20
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	48.41	67.60

## 第2四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)
売上収益	2,023,574	2,189,014
売上原価	△1,233,790	△1,331,623
売上総利益	789,783	857,391
販売費及び一般管理費	△534,951	△612,886
その他の収益	2,660	1,997
その他の費用	△992	△5,031
営業利益	256,500	241,470
金融収益	196	193
金融費用	△42,384	△43,482
税引前四半期利益	214,312	198,180
法人所得税費用	△76,295	△70,452
四半期利益	138,017	127,728
四半期利益の帰属 親会社の所有者	138,017	127,728
四半期利益	138,017	127,728
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	40.07	37.09
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	39.90	36.73

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
四半期利益	167,514	234,889
四半期包括利益	<u>167,514</u>	<u>234,889</u>
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	<u>167,514</u>	<u>234,889</u>
四半期包括利益	<u>167,514</u>	<u>234,889</u>

## 第2四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)
四半期利益	138,017	127,728
四半期包括利益	<u>138,017</u>	<u>127,728</u>
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	<u>138,017</u>	<u>127,728</u>
四半期包括利益	<u>138,017</u>	<u>127,728</u>

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2020年6月1日 至 2020年11月30日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計	資本合計
					新株予約権	合計	合計		
2020年6月1日残高	153,360	2,579,379	828,221	—	26,148	26,148	3,587,110	3,587,110	
四半期利益	—	—	167,514	—	—	—	167,514	167,514	
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—	—	
四半期包括利益	—	—	167,514	—	—	—	167,514	167,514	
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—	—	
配当金	—	—	—	—	—	—	—	—	
自己株式の取得	—	—	—	△54	—	—	△54	△54	
株式報酬	—	—	—	—	542	542	542	542	
所有者との取引額等合計	—	—	—	△54	542	542	487	487	
2020年11月30日残高	153,360	2,579,379	995,736	△54	26,690	26,690	3,755,112	3,755,112	

当第2四半期連結累計期間（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計	資本合計
					新株予約権	合計	合計		
2021年6月1日残高	153,360	2,579,379	1,187,589	△54	27,205	27,205	3,947,480	3,947,480	
四半期利益	—	—	234,889	—	—	—	234,889	234,889	
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—	—	
四半期包括利益	—	—	234,889	—	—	—	234,889	234,889	
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—	—	
配当金	—	—	—	—	—	—	—	—	
自己株式の取得	—	—	—	△134	—	—	△134	△134	
株式報酬	—	—	—	—	514	514	514	514	
所有者との取引額等合計	—	—	—	△134	514	514	379	379	
2021年11月30日残高	153,360	2,579,379	1,422,479	△189	27,720	27,720	4,182,750	4,182,750	

## （4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年6月1日 至 2020年11月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	260,116	363,044
減価償却費及び償却費	563,528	650,456
固定資産処分損益	11,252	5,064
金融収益及び金融費用	82,194	87,730
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△27,337	△51,279
棚卸資産の増減額（△は増加）	3,208	1,678
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	80,243	40,676
その他資産の増減額（△は増加）	2,526	△29,833
その他負債の増減額（△は減少）	△71,757	△63,104
その他	△222	514
小計	903,752	1,004,948
利息及び配当金の受取額	4	21
利息の支払額	△75,317	△80,210
融資手数料の支払額	△5,750	—
法人所得税の支払額	△53,404	△204,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	769,285	719,908
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△479,580	△390,090
有形固定資産の売却による収入	216	—
無形資産の取得による支出	△21,248	△21,424
敷金保証金の差入による支出	△26,219	△33,120
敷金保証金の回収による収入	1,517	—
その他	△1,338	2,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526,652	△442,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△200,000
長期借入れによる収入	516,000	191,000
長期借入金の返済による支出	△139,164	△223,296
リース負債の返済による支出	△368,365	△419,673
その他	△54	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,416	△452,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	251,048	△174,600
現金及び現金同等物の期首残高	513,863	1,056,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	764,912	881,423

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは葬儀事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり利益)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (千円)	167,514	234,889
発行済普通株式の期中加重平均株式数 (株)	3,444,210	3,444,180
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いられた普通株式の期中加重平均株式数 (株)	3,460,437	3,474,505
基本的1株当たり四半期利益 (円)	48.64	68.20
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	48.41	67.60
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類 (新株予約権の数31,200個)	新株予約権1種類 (新株予約権の数6,200個)

(後発事象)

該当事項はありません。